

「障がい者が会社ではたらくということ」
～ユニバーサル農園を目指す京丸園の取り組み～

2011年12月18日

京丸園株式会社

代表取締役 鈴木厚志

京丸園株式会社

経営の流れ

昭和39年生まれ（農家の長男13代目）

昭和60年 就農

平成 7年 経営戦略講座受講⇒「笑顔創造」
新商品開発に着手

平成 8年 Constructive Living資格取得

平成 9年 障がい者の受け入れ開始

平成16年 京丸園株式会社を設立

平成18年 NPO法人しずおかユニバーサル園芸
ネットワーク設立

京丸園株式会社 農園案内(浜松市南区)

- 法人設立 2004年10月
- 経営理念 『笑顔創造』

「笑顔は人と人との和の始まり」

「お互いの笑顔がお互いの支えとなるように」

「私たちの智慧と手足は心からの笑顔を創るために存在します」

【道徳なき経済は、罪悪であり

経済なき道徳は、寝言である】 二宮尊徳

京丸園株式会社

組織構成

土耕部 米・ごぼう・白ねぎ生産

水耕部 姫ねぎ・姫みつば・姫ちんげん生産

心耕部 Constructive Livingを活用し生産部署へ

総数 62名(役員4名・社員5名・パート 53名)

心耕部(障がい者数) **21名**

雇用 **17名** 研修 **4名**

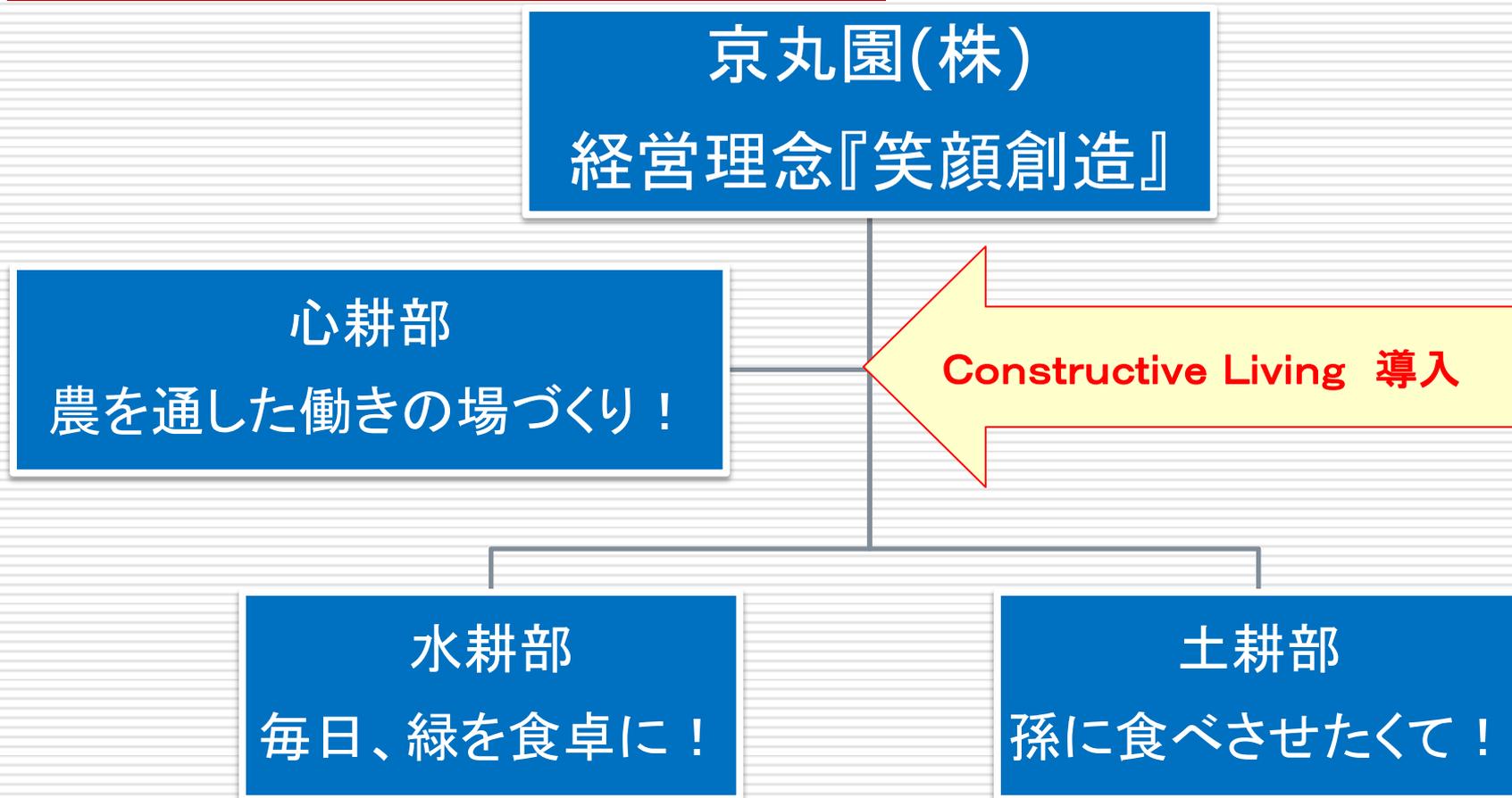
知的 **7名**

身体 **4名**

精神 **9名**

高次脳 **1名**

京丸園(株) 組織図 コンセプト



ユニバーサル農園とは

【農業＋福祉】新産業創出

○基本的な考え方(事業理念)

「働く個人ごとに役割を持って、人との繋がりの中で、幸せを感じられる仕事づくりを目指します」

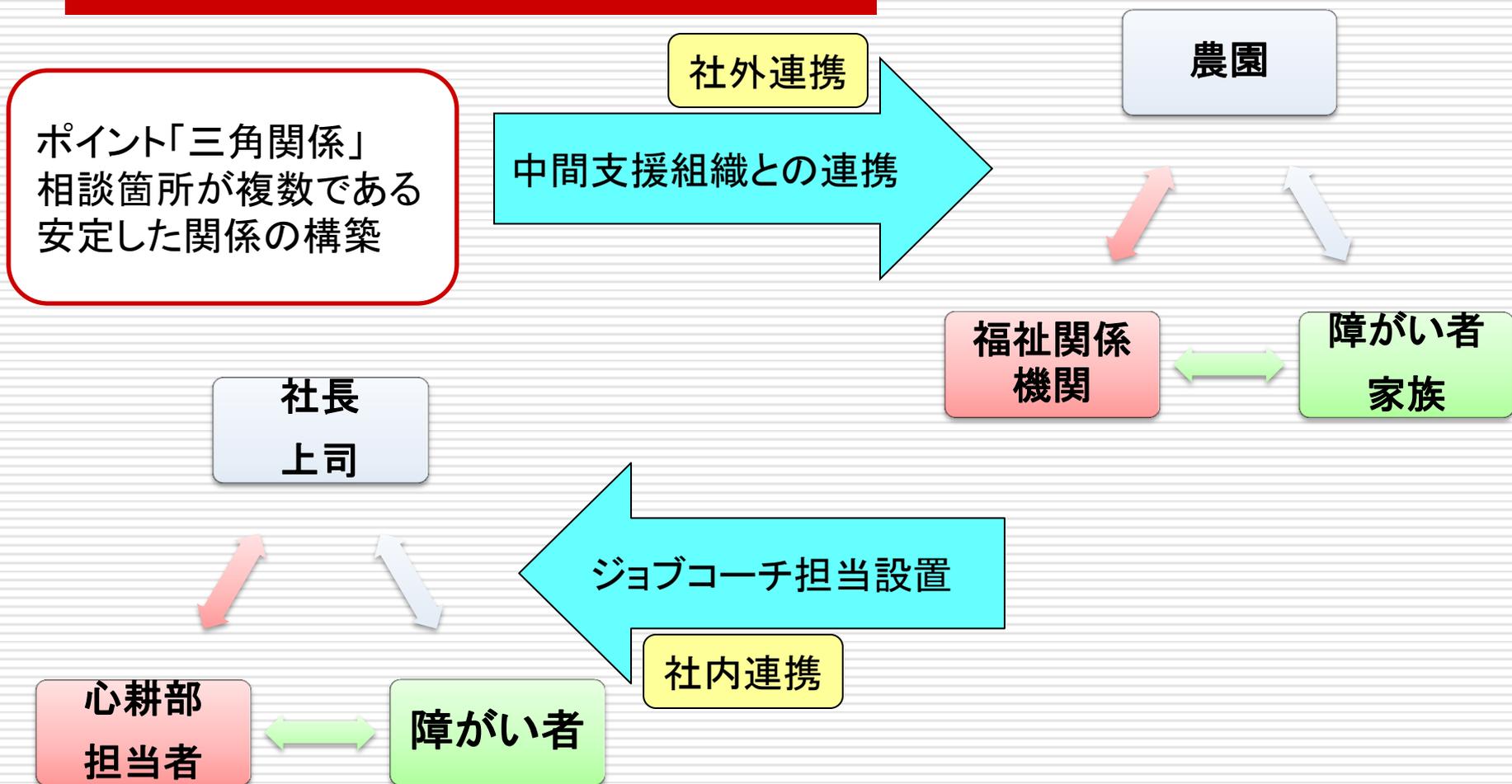
企業活動はすべて、人の幸せのためにあります。

正直に働き、品質の良い農産物を作り、お客様から仕事の評価を頂けること、そして結果として、利益とやりがいを生み出せることが、真の社会参加となります。

京丸園での働きが、関わる人々すべての人達の「喜びと安心と誇り」となれるような運営努力をしていきます。

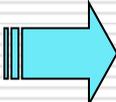
私たちの目指すユニバーサル農園とは、福祉のための農園ではなく、「農業経営における幸せの追求」です。

京丸園ネットワークの構築



京丸園株式会社のネットワーク

京丸園株式会社

経営理念『笑顔創造』  仲間作り(ネットワーク)

- 経営コンサルタント
 - 会計事務所
 - マーケティングプランナー
 - 社会保険労務士
 - JA、経済連(販売・資材・設備・機械)
 - 福祉関係機関
-

日本産業カウンセリング学会

障がい者雇用とConstructive Living
を活用したメンタルヘルスの取り組み

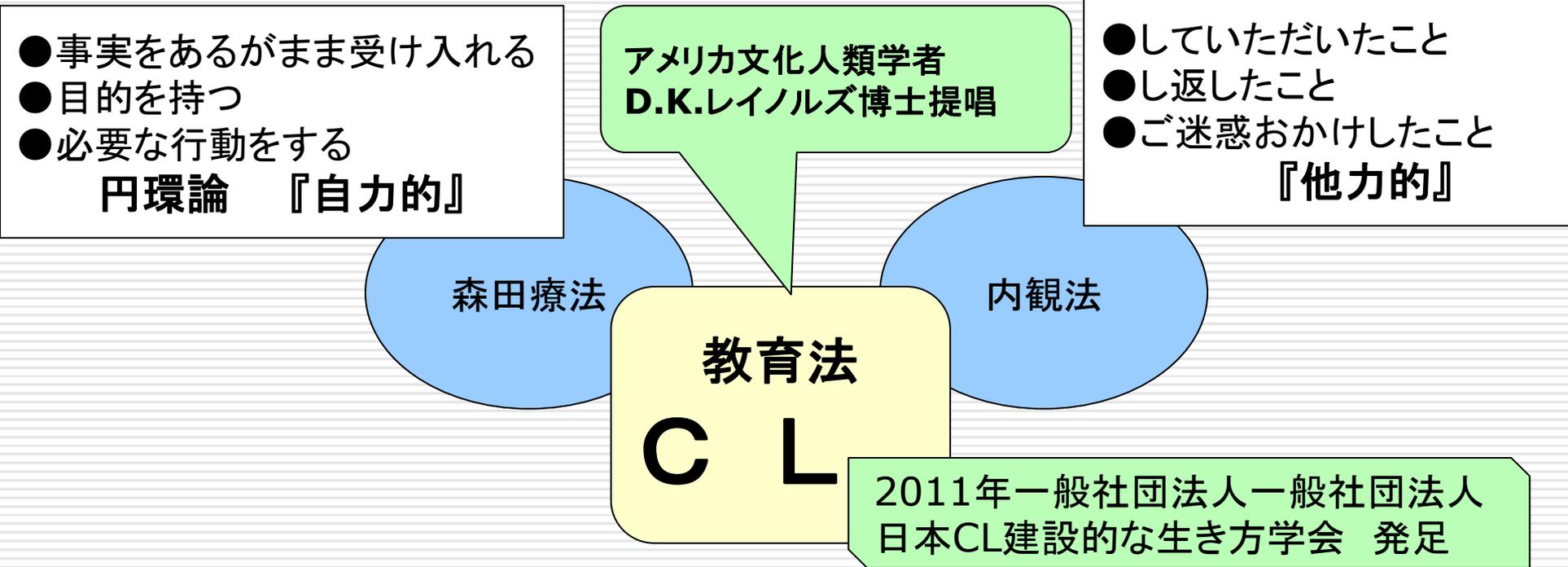
2009年8月30日

杉井保之 オリジン・コーポレーション

鈴木厚志 京丸園株式会社

Constructive Living

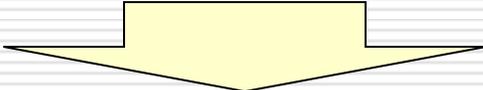
「建設的な 生き方」とは



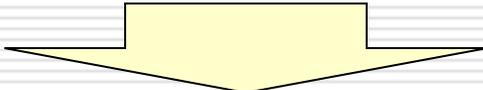
- ・一人ひとりに合った課題を提供
- ・課題は、具体的であること
- ・課題は、やったかやらなかったかが客観的に判断
- ・課題は、自分で行うことができること

障がい者雇用とConstructive Living を活用したメンタルヘルスの取り組み

障がい者雇用とメンタルヘルスの推進



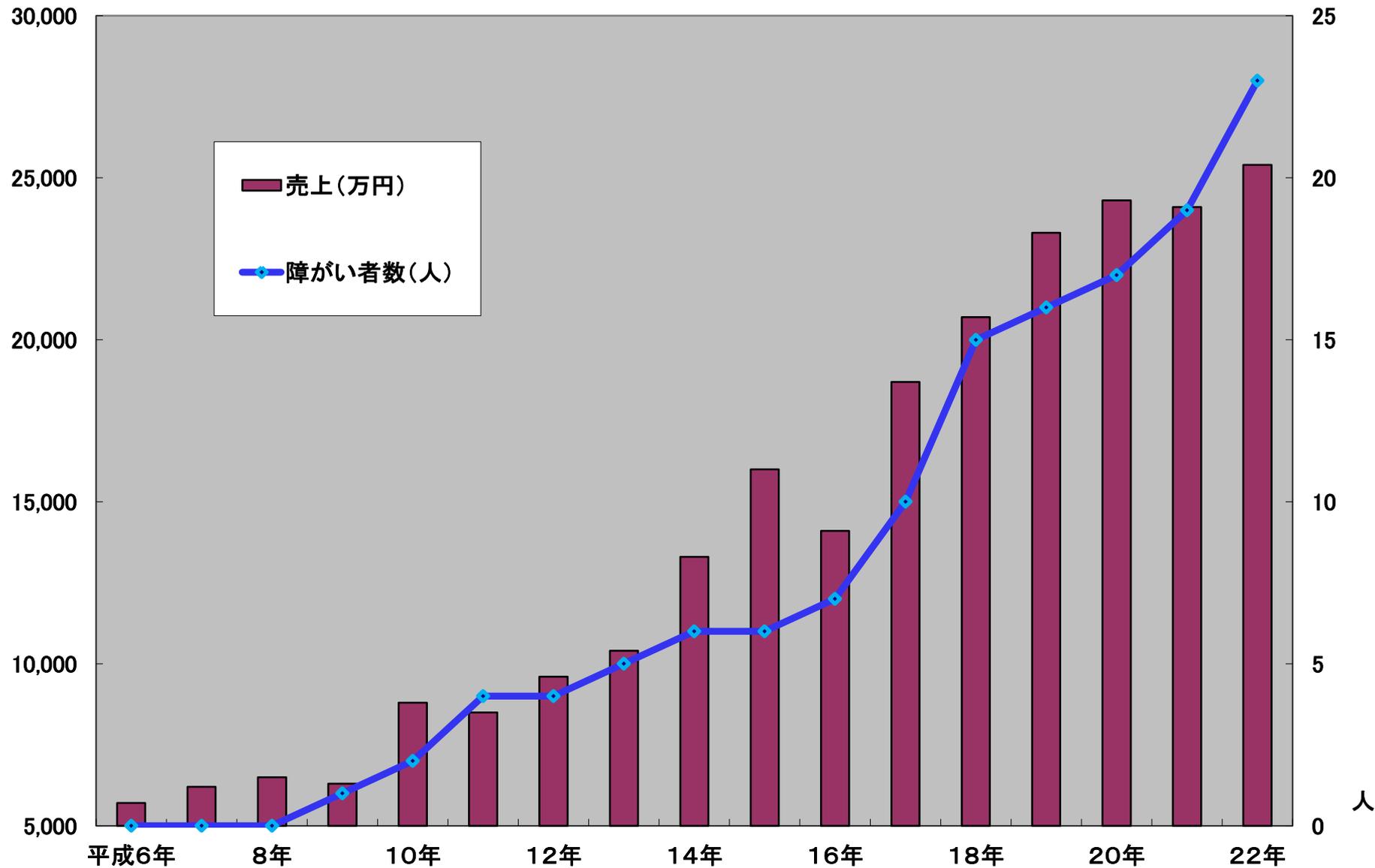
現在、取り組みが定着したとは言えない



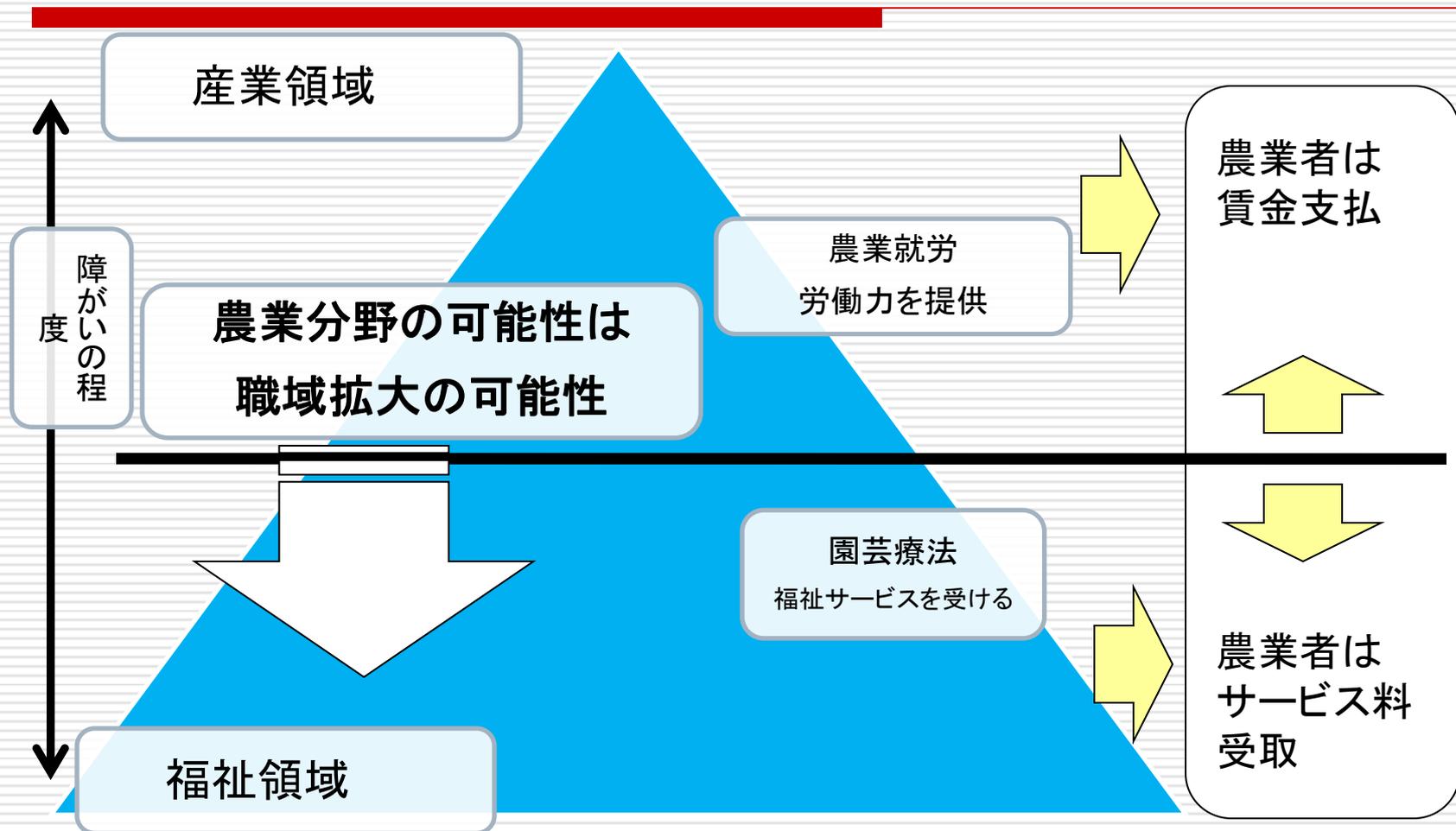
本当に障がい者雇用や企業内メンタルヘルスへの
取り組みは企業利益に繋がらないのか？

(万円)

京丸園の売上と障がい者雇用の推移



農業における福祉の追求



なぜユニバーサル園芸なのか？

農業・工業・福祉・医療のネットワークの必要性！

農業が活性化するには
農の多面的機能を最大限活かす！

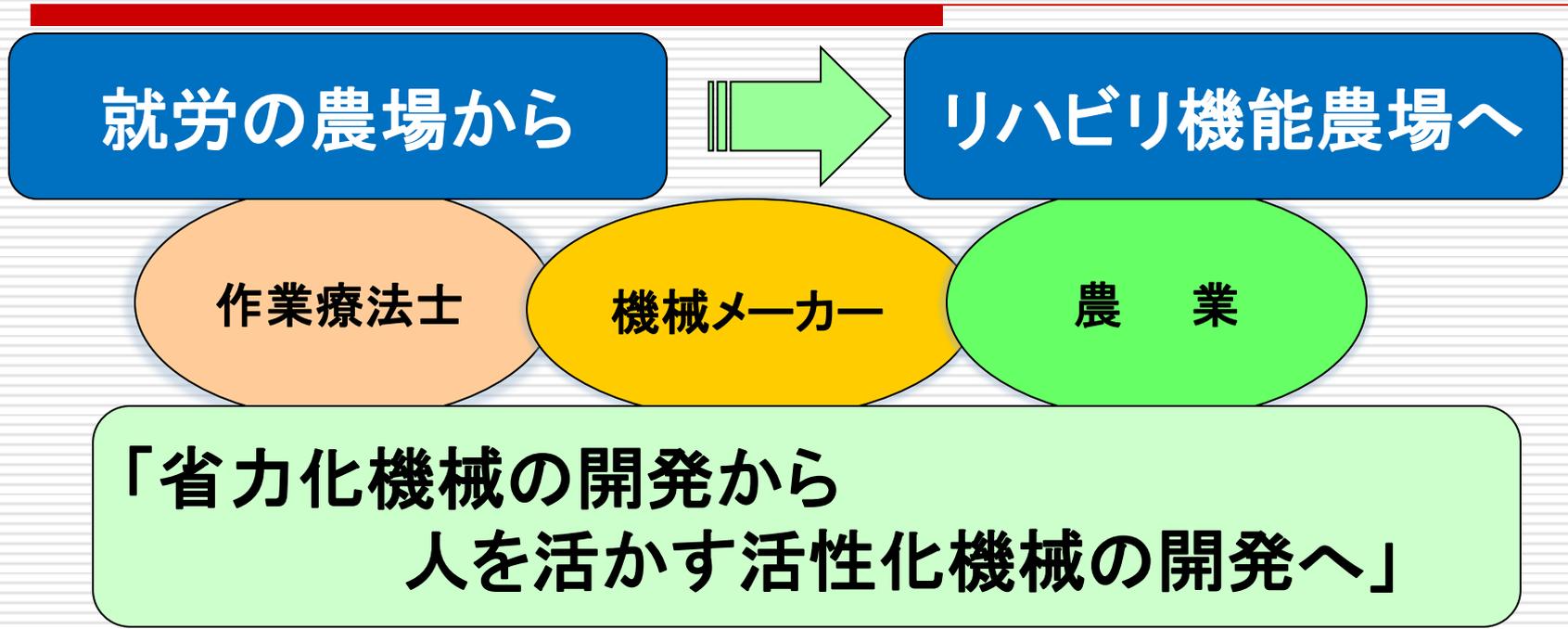
農業は、障がい者を活かしやすい産業である。
農業は、人に合わせて仕事を作り出すことができる。

農業をユニバーサルデザインすると！

農業+ α の発想
新たなビジネスの創造

企業・農業・福祉がつながる！！

新たな可能性



○農業が福祉の役割を果たす産業になるための機械開発

- ・障がい者が働ける農園の創造(障害者雇用)
- ・機能回復訓練できる農園の創造(医療機能)

農業のユニバーサルデザイン

産業・地域がつながるビジネスモデルの創造

健康創造産業創出

農・工・福・医連携

農業

アグリビジネス

アグリカルチャー

